

2009年 11月 13日

各位

会社名：株式会社システム ディ

代表者：代表取締役会長兼社長 堂山 道生

(コード番号：3804)

問合せ先：専務取締役管理本部長 井ノ本 登司

電話：075-256-7777 (代)

特別損失の計上および業績予想との差異に関するお知らせ

当社は下記のとおり特別損失を計上しましたので、その概要をお知らせいたします。また、平成21年5月12日に公表した平成21年9月期（平成20年10月1日～平成21年9月30日）の業績予想と、本日公表の平成21年9月期決算の実績に差異が生じたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、従来から自社開発したパッケージソフトをユーザへ提供しております。しかしながら、昨秋の金融危機に端を発した外部環境悪化に伴い、見込販売数量が著しく減少して将来における販売の確実性が見込めなくなった一部のソフトウェアについて、資産性を見直しました。

これに伴い、ソフトウェア評価損 438 百万円およびソフトウェア仮勘定評価損 297 百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 平成21年9月期通期業績予想との差異（平成20年10月1日～平成21年9月30日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,569	50	34	10	3円24銭
当期実績(B)	1,437	52	39	△654	△209円80銭
増減額(B-A)	△131	2	4	△664	—
増減率(%)	△8.4	5.3	13.3	—	—
(ご参考)					
前期(平成20年9月期)実績	1,657	143	219	34	10円77銭

3. 差異の理由

経済情勢が一段と厳しさを増すなか、当社では景気停滞期に即した事業スタイル＝「スモールビジネス」として前期より推進している新規顧客開拓、パッケージ販売、直接販売などの強化に一層注力するとともに、内製化体制を強化して外注コスト削減を進めた結果、営業利益および経常利益は若干ながら業績予想を上回りました。また、当期純利益につきましては、上記1に記載の特別損失を計上したため、業績予想を下回りました。

以上